

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	てくてく		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 6日		2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)
			16
○従業者評価実施期間	2025年 11月 10日		2025年 11月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
			4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	卒業後の進路に向けて、個々の課題や目標に取り組んでいます。一人できることを増やし、難しいところは適切な支援を受けることができるよう、それぞれに合った方法で環境を整え、次の事業所へつなげていけるよう支援しています。様々な作業にも取り組み、報告・連絡・相談が身につけられるよう支援しています。	利用者様に合った適切な支援は何か、どのように環境を整え、どうサポートするべきか、常に考え支援にあたっています。卒業後の進路、生活において、利用者様の強みをいかした支援を受けることができるよう、つなげていきたいと考えています。	卒業後の進路について、ご家族や本人の意向を確認しながら、一人一人に寄り添った支援ができるよう努めます。
2	保護者様との情報共有を大切にしています。つながりを深く持つことで、日ごろの様子の情報共有ができています。また、保護者会でのイベントを通じて、保護者様の交流や情報交換の場となっています。	定期的な面談で保護者様と顔を見てお話すること、連絡帳や、送迎時に保護者様と職員で会話をすることで、信頼関係を築き、連絡しやすい環境を整えています。	保護者様が安心して相談できるような環境作りに努めます。
3	園外学習を取り入れています。公共施設を利用する等、自立に向けた様々な経験を積み、社会のルールを学べるよう取り組んでいます。また、様々な経験・体験を積みこむことで興味を広げ、意思決定へつなげていけるよう支援しています。	様々な経験を積みこむことで自信につなげ、卒業後の進路への移行ができるよう考えています。	様々な施設を利用し、多様な支払方法を体験する等、個々に応じた経験ができるよう取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋が少なく、活動スペースが十分ではない。	他事業所との併用のため、部屋が限られてしまっていることと、建物の老朽化も考えられます。	バリアフリー化を踏まえ、リフォームの計画に取り組めるよう努めます。
2	地域の同年代の子どもとの交流ができていない。	当事業所のサービス提供日が、月曜日から金曜日の平日のみであり、地域の子供会等の行事は土日が多いことから、参加が難しい状況です。	長期休みを利用して、地域もしくは他の同年代の子どもや、他施設との交流を図ります。
3	事業所でのペアレントトレーニングの研修ができていない。	研修を検討しているが、実現に至っていません。	保護者様の希望をお聞きし、研修が実施できるよう努めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 てくてく

公表日 2026年 1月 1日

利用児童数 19

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	6	0	0	工夫された活動で、子供達は楽しく過ごせているが、活動スペースはもう少し広くなればと思う。	広さは十分ではありませんが、活動に応じて空間を広く使えるよう工夫しています。クールダウンが必要な時には、別室を利用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	3	1	2	・送迎が一人の時がある。 ・職員配置に不安を感じてはいるが体調不良や休暇等で不足するのではと感じる。	送迎ルートの関係で、少人数ずつ分かれて送迎に出ることが増え、その場合は職員一人となります。補助が必要な時には、二人で対応させていただいています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1	0	0		視覚や動線の工夫をしていますが、建物の構造上の不便さはあります。踏み台や手すりを設置し安全に利用していただけるように考えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	0	0		清掃・消毒を毎日行い、清潔な空間の維持に努めています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0		研修に参加したり、専門家の助言を頂いています。専門性を身に付け、特性等に応じた支援ができるよう努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0		支援プログラムに沿った支援内容となるよう努めています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		職員全員で支援会議を行い、利用者様・保護者様のニーズを踏まえた課題について話し合います。計画書の説明を行い、保護者様の同意のもと、支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	1		ガイドラインに沿った項目を設定しています。保護者様のニーズや、個々に合った具体的な支援内容になるよう努めています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		支援計画の課題に沿った内容になるよう考え、毎日の活動を決定しています。また、その日の活動に必要な、より具体的な支援内容について、ミーティングで話し合っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2	0	0		職員の考えた活動や、手作りの道具を使い、新しい活動を取り入れていけるよう努めています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	3	8	地域の方とはあると思います。	長期休みを利用し、他事業所や地域の方との交流が図れるよう努めます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		契約時にサービス利用計画をもとに説明させていただいています。利用者様負担について個別に必要な場合には、保護者様に説明後、請求させていただいています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		個別支援計画を作成し、保護者様との面談時に読み上げて説明を行います。今後も、分かりやすく丁寧な説明に努めます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	2	3	・研修会等ではいろんな話が聴きたい。 ・保護者会を通じた家族との情報交換は、よい機会となっているが、研修まではない。	ご家族が参加できる研修会の情報提供を行っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1	0	0		連絡帳や送迎時に、日々の様子の情報交換をさせていただいています。また、必要な場合には電話でお話させていただく等、日々変化する利用者様の状況に寄り添えるよう努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	1		定期的に行う面談時や連絡帳、送迎時にお聞きし、必要な場合には自宅に出向き、お話をさせていただいています。保護者様が相談しやすい環境作りに努め、悩みや成長の喜びを共に感じていきたいです。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0		利用者様との信頼関係を築き、共感的に支援できるよう心がけています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	1	3	きょうだい向けのイベントはないように思います。	定期的に保護者会を開催していただき、保護者様同士の交流の機会となっています。また、きょうだいも参加できるイベントを保護者会で開催していただいています。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	1		相談や申し入れに対し、迅速に対応できるよう努めます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0	利用者様には、文字盤・マカトン・タイムタイマー等、本人に分かりやすいツールで伝えています。保護者様にも、文書や電話等で分かりやすく情報伝達ができるよう努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	0	毎月のスケジュールは、連絡帳やホームページでお知らせしています。必要な際には、その都度お便りをお配りします。法人の広報誌を年2回発行しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0	ホームページの掲載写真等、個人情報の取り扱いについては、事前に保護者様の許可をいただいています。また、個人情報関連の書類は、鍵付きの書庫に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	0	面談時に各マニュアルについて説明させていただいています。様々な場面を想定した訓練が行えるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	0	毎月、地震・火事・津波を想定した防災訓練を実施しています。そのうち年2回は、消防署に届け出をし、水消火器を使用した訓練を行います。防災頭巾をブレイルームに常備しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	0	消防署からの助言を受け、緊急時に安全を確保するための避難経路を設けています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	2	事故発生防止マニュアルを作成しています。事故発生時には迅速に対応できるよう努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1	0	0	利用者様の健康状態や表情などに留意し、その日の状況に応じた支援ができるよう努めています。年齢に応じた活動を考える等、保護者様・利用者様に満足していただける支援が行えるよう心掛けています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		てくてく		公表日		2026年 1月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	配置数の基準は満たしています。職員同士の声掛け等を徹底しています。	引き続き求人活動を行い、職員の補充に努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	バリアフリー化はできておらず、段差が多くあります。踏み台や手すりの設置、職員の見守りや介助で、安全に過ごせるよう考えています。	構造上の課題は改善が難しく、リフォームが必要だと感じています。アンケートの結果を法人の方に要望としてあげます。また、補助具を使用する等、現在できる対応策も、引き続き考えていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清掃・消毒を毎日行い、清潔な空間の維持に努めています。プレイルームで行う活動に制限はありますが、楽しく活動できるよう工夫しています。	利用者様の活動に合わせた空間になるよう考慮し、取り組んでいきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	クールダウンが必要な時や、本を読んだり集中して取り組みたい時には、別室を利用し静かに過ごせるよう配慮しています。	今後も継続していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	毎日ミーティングを行い、改善点等も話し合います。ミーティングノートに記録し、職員全員での情報共有を図っています。	今後も、話し合いや情報共有を大切にし、業務改善に努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		アンケートに記入していただいた内容と保護者会で取り上げられた内容を、業務改善につなげています。	評価表だけでなく、日ごろからの信頼関係を大切にし、必要に応じて保護者様の意向を把握できるよう努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日のミーティングや毎月の会議で、業務内容について意見を出し合い、業務改善につなげています。	今後も継続していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		第三者機関に教えていただいた内容をもとに、支援の改善につとめています。	今後も継続していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部研修に参加しています。また、個々が希望する外部研修に参加できるよう、掲示板に研修案内を掲示しています。	法人内での研修が開催できるよう働きかけ、外部研修にも積極的に参加していきます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		昨年度、支援プログラムを作成し公表しました。	5領域に沿った支援、活動が行えるよう努めます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		アセスメントは6ヶ月毎に行っています。職員全員で支援会議を行い、利用者様、保護者様のニーズを踏まえた課題について考え、話し合っています。	今後もアセスメントだけでなく、サービス担当者会議、送迎時や連絡帳での情報交換を含め、課題に取り組んでいきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		支援に関わる職員全員で話し合い、検討しています。	今後も、日ごろの情報共有を大切にし、支援に関わる職員全員で考えていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個々の計画は、職員がいつでも閲覧できるようにしており、確認しながら支援にあたっています。また、課題に沿った活動内容になるよう職員全員で話し合い、活動を決定しています。	職員全員が、計画に沿った支援ができるよう努めます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		5領域に合わせたアセスメントツールを作成し、利用者様の状況を把握して、個々に応じた支援ができるようにしています。また、日々の保護者様との情報共有を大切にしています。	今後もアセスメントや、日々の保護者様との情報共有に努めます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		ガイドラインに沿った提供すべき支援項目を設定し、個々に応じた具体的な支援内容となるよう計画を作成しています。	今後も継続していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	活動内容は職員全員で話し合い、決定しています。また、具体的な支援内容についても、意見を出し合い考えています。	利用者様が楽しめるよう、今後も工夫していきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		利用者様の興味がある事や、希望の活動を取り入れ、固定化しないよう工夫しています。また、利用者様の考えた活動も行っています。職員の考えた活動や手作りの道具を使い、新しい活動を取り入れられるよう努力しています。	今後も継続していきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		課題を踏まえた活動を、集団活動に取り入れていきます。また、一日のスケジュールの中に個別活動を取り入れ、利用者様の状況や興味を考え、より個々の課題に沿った活動を行っています。	今後も、利用者様の状況に合わせて、スモールステップで課題に取り組んでいけるよう、よりよい計画の作成に努め、支援を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日のミーティングにおいて、その日の活動のシュミレーションを行い、支援内容について意見を出し合います。その日のスケジュールや役割分担は壁に貼り、いつでも確認できるようにしています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	翌日のミーティングで前日の利用者様の様子、活動や支援が適切であったかを話し合います。内容はミーティングノートで情報を共有し、今後の支援につなげていけるようにしています。	職員間の情報共有の徹底に努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日、必ずケース記録を記入しています。その日の担当以外の職員も気になったことを記録できるようにしています。記入漏れがないよう、チェック表を用いて確認しています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		6ヶ月毎にモニタリングを行い、計画を見直しています。必要であれば、保護者様に同意を頂き、途中でも見直しを行います。	今後も継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		地域の方との交流や自立に向けての活動を含め、4つの基本活動を取り込んだ内容の活動を提供しています。	利用者様と同年代の方との交流ができるよう努めます。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	毎日のおやつは、用意した中から自由に、食べたい物を選んでいただいています。また、利用者様が考えた活動を取り入れたり、したい活動を選択していただく機会を設けています。活動への参加の可否も、本人の気持ちを尊重して対応しています。遊びの時間には、自由に遊びを選択していただいています。	自分の思いが伝えられるよう支援していきます。職員の期待や思いではなく、利用者様の思いを大切にできるよう支援していきたいと考えます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		相談支援事業所とのサービス担当者会議や、学校にも参加していただく担当者会議を開催し、利用者様をよく理解した職員が参加しています。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		自立支援協議会の部会へ参加しています。	今後も継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		年間予定や行事予定、下校時間は、アプリやホームページを通じて情報共有していただいています。トラブル発生時には、学校のコーディネーターの先生に連絡を取らせていただいています。	今後も継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1		新入生、新契約者様に対しては、児童発達支援センターと情報共有できるよう図ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	支援が難しい利用者様には、当事業所で行っていた利用者様が好む作業活動や、使用していた手仕事の道具を、次の事業所へつなげています。	今後も継続していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		サービス担当者会議に、必要に応じて参加していただき、助言を受けています。	研修情報の取得に努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		長期休み等を利用し、他事業所や地域の方との交流を図れるよう努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		自立支援協議会の部会へ参加しています。	今後も継続していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳や送迎時、電話等で、日々の様子の情報交換をさせていただいています。	引き続き、保護者様との情報共有に努めます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		ご家族が参加できる研修会の情報提供を行っています。保護者様には、保護者会への参加を呼び掛けています。	今後も継続していきます。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時にサービス利用契約をもとに、説明させていただいています。個別に利用者負担が必要な場合には、保護者様に説明した後に請求させていただいています。	引き続き、保護者様への丁寧な説明に努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		面談の際に、ご家族の意向を確認し、将来へ向けての意向もお聞きしています。	利用者様の意向も確認できるよう努力していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		個別支援計画を作成し、保護者様との面談時に、読み上げて説明をし確認の上、同意していただいています。	今後も継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		連絡帳や送迎時等にお聞きし、必要な場合には、電話やご自宅に向き、お話をさせていただきます。	今後も継続していきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	1	保護者会では、きょうだいに参加できるイベントを開催していただいています。保護者様には、保護者会への参加を呼び掛けています。	保護者会に、少しでも多くの方に参加していただけるよう、連携に努めます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		契約時に苦情担当窓口の説明をさせていただいています。また、当事業所の玄関に投書箱を設置しています。苦情や問い合わせがあった内容や対応策について、全職員で共有し改善に努めています。	苦情があった場合には、迅速に対応させていただきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		毎月のスケジュールは、連絡帳やホームページでお知らせしています。必要な際には、その都度お便りをお配りします。法人の広報誌を、年2回発行しています。	今後も継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の取り扱いについては、事前に保護者様の許可をいただいています。個人情報関連の書類は、施錠できる書庫に保管しています。	今後も継続していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		利用者様には、本人が分かりやすいツールを使い、伝達させていただいています。保護者様にも、文書や電話で、分かりやすい情報伝達に努めています。	今後も継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		地域の方に助言をいただき、庭で花を育てています。また、自治会の方のご厚意により、毎年七夕の笹を頂いています。	今後も、自治会の方と交流させていただき、利用者様との触れ合いの機会が持てるよう努めます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしています。保護者様には面談時に説明させていただいています。毎月、防災訓練を行っています。	様々な場面を想定した訓練が行えるよう努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		業務継続計画で策定した内容を再検討し、研修を行っています。	今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		服薬がある場合は、事前に処方箋を確認させていただいています。てんかん発作についても、事前に確認させていただきます。	今後も継続していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		アセスメント時に、アレルギーの有無をお聞きしています。医師からの結果報告書がある場合は、複写を保管させていただいています。	今後も継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画を作成し、それに基づいた点検等を行っています。	用途に応じた研修が行えるよう努めます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		災害時の避難場所を、個別支援計画に記載し、保護者様との面談時にお話させていただいています。	保護者様にもご協力いただき、合同訓練ができればと考えています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		自発管からの声掛けや、職員自ら気付いてヒヤリハットを記入し、職員全員で改善策を検討しています。	今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止委員を設置し、ガイドラインに沿って促進しています。職員への研修を行っています。	ガイドラインに沿った研修を実施し、職員のスキルアップに努めます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		身体拘束の適正化のための対策を検討する委員会を定期的に開催し、職員への周知徹底を図っています。現在、身体拘束が必要な利用者様は、おられません。	今後も継続していきます。	